

外国籍住民と空き家を 地域資源として生かす 災害からの復興

認定特定非営利活動法人
茨城NPOセンター commons

横田 能洋

<http://www.juntos-joso.org>

<http://www.npocommons.org>

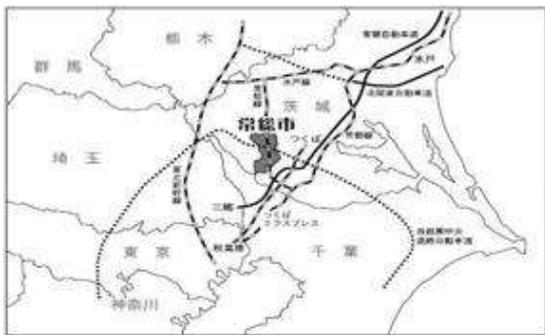
これまでの活動

1986	茨城大学人文学部入学 社会学を学び、地域で障害者運動にであう
1991	茨城県経営者協会に就職 企業の社会貢献推進や労務に関する研修などを企画
1998	NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ設立し転職 NPO法人の設立運営、障害者や若者の就労支援など企画
2009	県と協働で「外国人就労就学サポートセンター」を運営 大人の日本語、労働相談、再就職支援、子どもの就学支援
2010～	外国ルーツの子のサポートをグローバルセンターとして継続
2013	よりそいホッとラインで困窮者の相談支援に従事
2015～	常総拠点が鬼怒川洪水で被災。被災者の生活再建に取りくむ
2018	外国人ピアサポーター養成事業、多文化保育園開所
2019	県内学校へのサポーター派遣、多文化ソーシャルワーク普及

2015年9月10日午後13時鬼怒川堤防決壊



水害は、日本人の流出と空き家、外国籍住民の増大を招いた



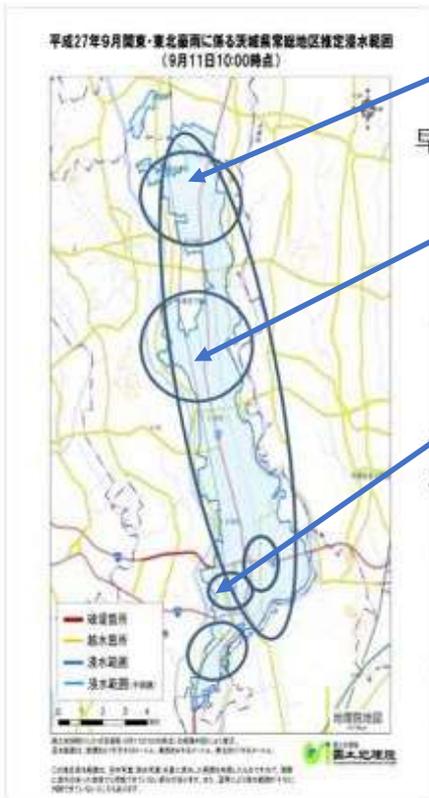
常総市では市の3分の1の面積が浸水し、床上浸水は5千世帯に及びました。家を直せない人は、あきらめて市外へ去って行きました。店舗も次々になくなり、空き家、空き地が残りました。そこに、外国籍住民が移り住んできました。



3日間水に浸かったことで建物に甚大な被害

2015年末 2017年末 2020年6月1日

- 市の人口 64,462人 → 59,398人 → 62,887人
- 外国籍住民 3,922人 (約6%) 4,675人 (7.8%) 5,515人 (8.8%)



早朝、北部で堤防越水



13時 堤防決壊



森下地区

夕方 新八軒堀川の水が地下から溢れる



夜、南部市街地浸水

深夜 八軒堀川決壊



市の東部全体が浸水



ボランティアが泥だしや片付けをした家でも改修の費用が工面できない世帯は、家を壊し街を去って行きました。



人が減ると、宴会場、ファミリーレストランも次々に廃業。森下町ではお茶のみできる場がなくなりました。



アパートも改修資金が足りず、手つかずのまま残っている物件もあります。

日本人が出ていった戸建てに外国籍世帯が入居したり、空き地に日系ブラジル人が家を新築するケースが増えました。外国人住民の割合は1割を超えました。

コモンズが目指すシェアハウス（居場所）は多文化・福祉・長屋

被災者の生活再建と孤独防止を重視していた5年前のコンセプト

- 庭や間取りが選べる 住む人の意向に沿って家を改修
- 家賃を抑える 空き家活用とDIYで改修費を抑える
- 一人暮らしでも安心 送迎、ゴミ出しなどの生活サポート
- 寂しくない 「えんがわハウス」を自由に使える
- 楽しみがある 趣味、畑、運動、散歩等、
- 生きがいが見つかる 子の見守り、大工、畑や園芸など
- 災害への備えがある 災害時もスムーズに避難

今のコンセプトにはダイバーシティ（人的多様性）が追加

- 日中独居で見守りが必要だが要介護ではない人、**一般就労できない人**に、家から出て**人と会える場**を作ること**で孤独を防ぎたい。**
- **外国籍の高齢者、障がい者**が安心していける場を作り、福祉ニーズに合わせたサービスと**バイリンガルな共助の担い手**を生み出したい。
- **福祉サービスから漏れてしまうのを減らす。**
- 多文化保育園の園児と高齢者の共生ケア
- **年齢、国籍、障がいを超えた地域での支え合い**

相談で見えてきた、地域で暮らす外国籍住民の福祉的課題

- インド、パキスタンなどの転入者の**子育ての相談先が不足**
- 日系ブラジル、フィリピンの子の**不登校や引きこもりの増加**
- 外国籍生徒の高校を出た後の**仕事先**が工場などに限られている
- コロナ、住宅ローン等で**心身を病む人**の増加
- DV・虐待で家を追われる**母子の住む場**がない
- 日系人以外の**外国籍女性の仕事の訓練の場**が少ない
- **高齢の日系人がいける福祉の場**がない
- **外国籍で障がい、高齢福祉サービスが受けられない人**がいる
- 兄弟姉妹が多い外国籍の子が**ヤングケアラー**になりやすい
- 若い技能実習生と地域の**接点**がない
- 入管**収容施設を出された人**の家と医療が不足

8年間で7棟の空き家を改修再生



ジュントスハウス



ぽかぽかホーム



えんがわハウス



えんがわハイツ



みんなの家

事例2 診療所と医者の住宅2棟を カフェと保育園に ～ えんがわハウス



みんなが集える

1月21日
土曜日

家プロジェクト

第3弾!!

旧片野医院の母屋
築100年の古民家をおなさんと一緒にぶけがえらせていきましょう!
今回のプログラムは 根太の清掃と消毒、建具の洗浄などを行います
古民家に興味がある方、修繕体験をしてみたい方、ぜひご参加ください!!

第2回の様子

大量のゴミを
ていねいに
取りました。

泥出し

泥水をかき出し
上皿の土をとりまわ
この体験もいっ
きょうにならな
達成感ぞ
行け!

当日の予定

9:30 集合・おイベントサイン
10:00 作業開始
12:00 昼食
14:30 お茶
15:30 解散

Juntos
ハウスに
集合して下さい
お屋は
本格リブカル
です!!

服装 - 汚れも良い格好
雨天 - 来てください!!
★ 当日参加もあり!!

おいちい人もおばあちゃんも
おとなもこどもも...
みんな来てね★
おてます!!

2017

一申し込みに
たすけあいセンター Juntos
常総市水海道森下町 4-335
0297-44-4281



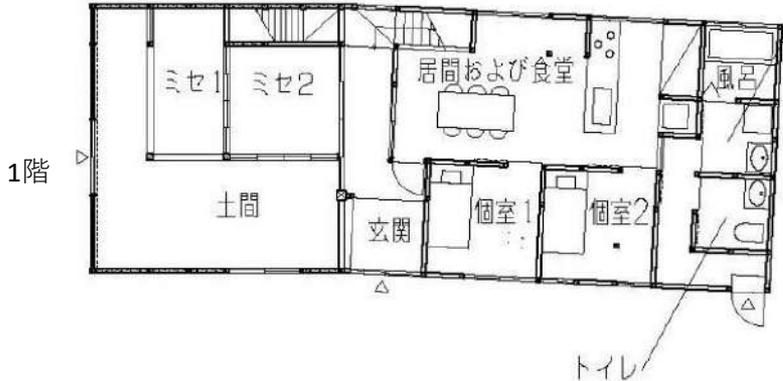




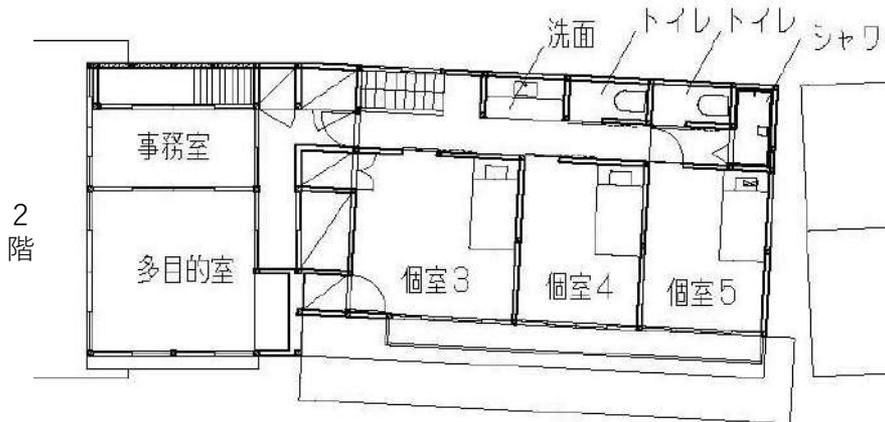
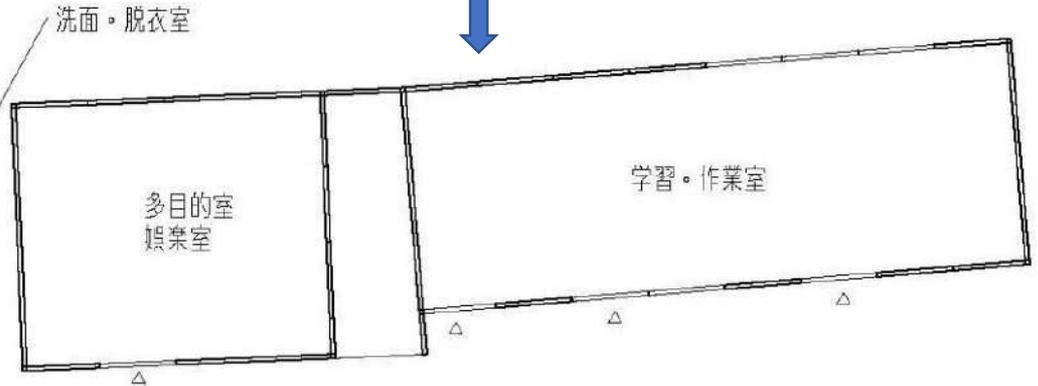


事例3 製麺工場・住宅をシェアハウスに ～ ぽかぽかホーム

店舗兼住宅をシェアハウスに



製麺工場跡地を多目的室に



旧青柳製麺所も1メートル以上の浸水被害にあい、廃業し空き家になっていました。それから6年目となる2021年、2階建ての店舗兼住宅の改修を行うことにしました。道路に面した店舗部分は駄菓子屋のなくつろげる場として、住居部分は、1階に2室、2階に3室の居室をつくりました。この家は、高齢者も若者も外国籍の人も共に暮らす家という設定にしてみました





高校生の交流会、保育園児の 体操の部屋、相談会の会場



常総市水海道の森下町・橋本町（計1500世帯ほど）は8年前の鬼怒川洪水で住宅浸水被害が激しく、空き家がおおく、外国籍住民の居住が増加している



えんがわハウス
(旧診療所と住宅)



今回整備する
高齢者等の
デイホームと
シェアハウス



えんがわハウスの西隣



前回整備したシェアハウス

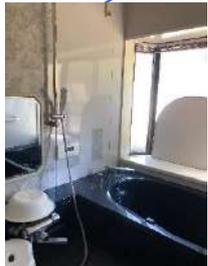
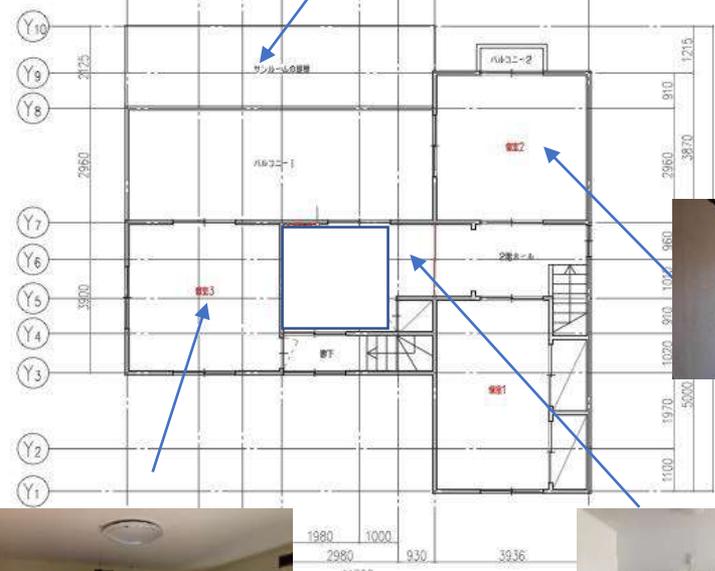
事例4 住宅の1階は交流スペース、2階はシェアハウス ～ みんなの家



1階



2階



1階 高齢者等デイホーム

2階 シェアハウス居室 4部屋

空き家リノベーションと 新たなコミュニティづくり

- 改修費支援と入居者が見込めれば、改修できるアパートや一軒家は街に多数存在し、直したいオーナーもいる。
- 改修費を「まちづくり会社」やNPOが負担し家賃で返済するモデルを作ればオーナーが直せない不動産を再生できる。
- 空き家再生で新しいアパートにはないものを付加する。
(シェアハウス、飲食、保育、交流スペース、福祉長屋のような共同生活ができる空間、見守り・仕事がある等)

成果

本当に行き場がない人に住居を提供できた

- ①5年間、牛久の入管施設に収容されていたアフリカの男性（生活保護却下、寄付で医療支援）
- ②交通事故で治療に専念する日本人
- ③25年間自宅にひきこもっていた日本人（脳出血で入院するも退院して復帰）
- ④会社経営が行き詰まり車中泊をしていた日本人
- ⑤来日後、親が帰国し、おいていかれた兄弟（児相の保護について何度も交渉）
- ⑥刑務所の出所後行くところがない外国籍の人

8年前、空き家を生かそうと始めた活動は
居住福祉にたどり着きました。共に過ご
し、共に住み、関係をつくっていきます

地域に開かれた保育園
で、こどもと地域の独
居高齢者と交流

国籍も事情も違う人
が同じ屋根の下で暮
らす



多世代・多文化が交わるえんがわハウスと
3つのシェアハウスを運営し、
空き家を生かした水害復興のモデルを創ります

応援よろしくおねがいします。

